

## 旅先で感じた塾の輪の有難さ

松本鉄男（44工）

未だ寒さが抜けない3月6日～8日に気の合う同期6人で岡山地方を巡った。

6日 11:17 に岡山駅に到着し駅前の桃太郎の銅像に挨拶して旅行の無事を祈り早速チャーターしてあったジャンボタクシー（ドライバーが観光ガイド兼務）に乗り込み西大寺観音院に向かった。ここは日本三大奇祭（あちこちで自分の所が日本三大奇祭と称しているらしい）と言われている西大寺会陽という裸祭りである。

狭い境内に裸に褌を締めた10,000人の男が駆け上り、投げ入れられた二本の宝木（しんぎ）を奪い合い取った者が福男となるお祭りである。

その後備前焼のお店へ立ち寄りこの日の夕食時に美味しい日本酒を味わうべくぐい呑みを購入した。更にそこから閑谷（しずたに）学校へ向かった。ここは岡山藩主池田光政が作った岡山藩直営の庶民教育のための学校・学問所で庄屋とかのお金持ちの子弟のみでなく広く開放されたと聞く。なんとなく福澤先生が始められた塾と同じ精神を感じた。

本当に山の中の学校という感じで我々が学んだ武蔵小金井に有った工学部を思い出した。環境が悪くてもその意思があればどのような環境でも勉強は出来るものだと今になって感じた次第である。（時すでに遅し!!）



鷲羽山から見た瀬戸大橋

そこから観光ポイントの鷲羽山に向かったが生憎の雨で瀬戸大橋が霞んで見えた。晴天であれば見えたであろう素晴らしい光景をエアーCGで想像した。早々とこの日のホテル下電ホテルへ向かった。ここは美しい夕日で有名なホテルであるがここでも雨のため夕日は見えなかった。ここは上皇様、上皇后様も宿泊されている。また大相撲の巡業で来た白鵬や他の関取衆の手形も飾られていた。

7日は桃太郎が鬼に向かって矢を放ったとされる大吉備津彦命（桃太郎？）を御祭神とする吉備津彦神社、鬼が居たとされる鬼ノ城（朝鮮式の築城技術）などを巡った。ここでは朝鮮半島から来たとされる集団が地元の人々に悪さをしていたらしく伝説で言う鬼は彼らを指すとも言われている。

その他色々名所を巡り夜は紹介された店で美味しい瀬戸内海の魚と日本酒を楽しんだ。

8日は楽しみにしていた倉敷美観地区訪問だった。大原美術館に来たのは1968年大学4年の夏休みに「単位ゼロではあるが必修科目」の工場見学があり、その途中で訪問した時以来である。大原美術館に入ろうとしたところ「大原美術館をバックに良い写真が撮れるポイントを教えてあげる」といって首から高級そうなカメラを二台ぶら下げた色黒で背の高い男（ガイド）が近寄って来た。胡散臭い奴



大原美術館

だと思い最初は相手にしなかったが、折角ならガイド付きの方が観光を楽しめると思いそのガイドに従ってみる事にした。

美観地区本町通り（古い時代の風情がつながる通り）や横丁に入りながらここに立て、そこに立てと言われるままに写真を撮りまくった。後から写真を見るとなるほど良く撮れていたのが驚いた。

なかなか案内が上手で色々な説明を聞いて成程と理解を深める事が出来た。

通りを歩いていると軒先に杉玉がぶら下がっているお店を発見、昔から続く有名な造り酒屋で森田酒造と言って「飛び込みは断られるよ。アポをきちんと取ってから行きなさい」と言われた。あるTV番組でのルポに来た女優が飛び込みを試みたが断られたが諦めずに有名な芸人を引っ張って来てやっと入れてもらえたというエピソードを聞かされた。

最後にガイドがチラッと「社長は慶應出身だそうだよ」と言ったのを聞き逃さず耳に留めておいた。

今はホテルなどで使用されており伊勢志摩サミットの際の実務者会議が行われた会議室などがある倉敷紡績（現クラボウ）の工場跡地でガイドは終わり、最後にガイドから「写真を買ってくれると有難い。一人300円で良い」と言われたが案内の内容が良かったので500円渡したら大変喜ばれた。

ガイドと分かれたがやはり森田酒造が気に入り私が交渉役となりアポなしで突撃を試みた。遠慮がちにドアを開けると品の良い柔和そうな紳士がこちらを訝しげに見たので、「アポなしでご迷惑でしょうが我々は塾44年卒で岡山地方を観光しており今日が最後でこちらに来ました。ガイドからこちらのお話を聞いたが社長が塾出身者という事で飛び込み出来てしまいました」と告げたところ、「そうですか私は3代目社長の森田昭一郎39年商学部卒です」と話され快く迎入れてくれた。その時の写真を載せてある。お土産を購入しようとしたら「ここは事務所で土産の酒は隣の平粋軒で売っているので行きましょう」と社長自ら案内してくれた。ここでは日本各地の拘りを持った食品を扱っている。ここでお勧めの完全開放発行方式で作られた万年雪未搾の酒「荒走り」を土産に買った。

社長から二階もあるのでそこでゆっくりして行って下さいと言われて二階に上がった  
ら廊下の両側に丁度タイミング良く森田家に伝わる大きな雛人形や綺麗な刺繍をした  
座布団がきれいに飾られていた。廊下を抜けると見晴らしの良い喫茶サロンがありそ  
こでコーヒーを御馳走になった。従業員さんの話ではそれらは森田家に代々伝わる家  
宝のように大事な物だと教えてくれた。



森田社長と私

自宅に帰ってからその「荒走り」を飲んだが  
酒飲みには堪えられない深みのある素晴ら  
しい酒だった。最近銀座6にも店舗を出さ  
れたとの事で先日行ってみた。そこにはこ  
のお酒が置いてあったので購入した。  
飛び込みだったが初対面でも塾出身者同士  
というだけで親切にして頂けて正に塾の輪  
を感じた。皆様も倉敷美観地区を訪問され  
るときは事前にアポを取って訪問されるこ  
とを勧める。

キーワード : 「森田酒造」、「森田昭一郎」、「平粹軒」をヒットしてみてください。

6月20日発行の会報103号にも同じ内容の記事を載せてありますが誌面のスペースが  
限られているので詳細をHPに載せた次第です。